

令和3年度第2回天童市総合教育会議

日 時 令和4年3月24日（木）
午前10時30分から
場 所 市庁舎3階会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 協議・調整事項

(1) 教育大綱に基づく令和4年度の教育方針について

(2) 市内小中学校の学力向上について

ア GTEC（英語4技能検定）の結果について

イ 学力検査の結果について

ウ その他（進路状況について）

(3) その他

4 閉 会

令和4年度の教育方針

天童市教育委員会 教育長 相澤 一彦

1 基底とする見方・考え方

ともに明日をひらく、まちづくりとしての教育

よりよい児童生徒を育てることは、同時によりよい市民を育てることであるという視点を基底に据える。すなわち、児童生徒は、一人一人が大切にされることで、存在意義を感じ、意欲的に学習をはじめ様々なことに取り組み、また周りを大切にす。その際、自ら課題を見つけ、問いを立て、解決・創造する知性を育てるとともに、心身の健康を保持して人間性の伸長に努め、地域や郷土に愛着と誇りを持つよき市民として成長する。

2 一人ひとりを大切にする教育

- (1) 命、健康を大切にした安全・安心な教育環境の維持
新型コロナウイルス対応と環境整備と命を大切にした教育
- (2) 生徒理解、教育的ニーズに応じた教育の充実
特別支援教育の視点を核にした、多様性が尊重される教育
- (3) 生きる力を育てる、いじめや不登校等生徒指導の充実
S S W、S C、担当各課等連携した指導の充実

だれもが安心でき、認め合い、未来に希望が持てる教育

3 深い学びにつながる知性を育む教育（学力向上の保障）

- (1) 学びの視点（本市弱点）を明確にした学力形成
根拠を明らかにして論理的に考え、伝える力の育成
- (2) 将来につながる学びを保障する体制を推進する
I C T機器の活用と指導力の向上を保障する体制や研修

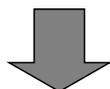
- (3) 学力の中核をなす言語活用力と求められる英語力の充実
重点化して取り組むとともに実践を検証する

次代を生き抜く知恵と技能を身に付け、社会力を伸ばす教育

4 郷土を担う人づくりの教育

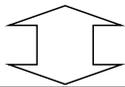
- (1) 郷土を知り、郷土との関わりを育む学校教育
開かれた教育課程の充実と「市民科副読本」の活用
- (2) 公民館活動や地域活動、P T A活動等を充実させる支援
市民の一人としてのボランティア活動の推進
- (3) 日常の危険を予知、回避、さらに災害に対応できる力を育む
危機意識の情勢と、災害対応力を育てる教育課程

郷土の理解と関わりが深められ、すこやかに生きる力を育てる教育



天童の教育 三つの柱と六つの重点

- 1 一人ひとりを大切にする教育 ⇨ 新型コロナ対応と多様性の尊重
- 2 深い学びにつながる知性を育む教育 ⇨ 学力の向上と、ICTの活用
- 3 郷土を担う人づくりの教育 ⇨ ふるさと学習と災害への対応



目指す天童市の子供像 一役割を意識し、ともに明日をひらく

未来を描き、問いを立て 解決・創造する子供

- ・未来を描く = 郷土の誇りを持ちながら、将来の自分を想像、努力する
- ・問いを立てる = 課題や疑問、何が問題なのか等に向き合い、認識する
- ・解決・創造する = 問いの解決や創造に向かって様々な手立てを講じる